

# 大和高田市農業委員会会議録

1. 開催日時 平成30年9月7日（金）午後3時00分～午後3時40分  
 2. 開催場所 大和高田市役所 3階東会議室  
 3. 出席委員 農業委員（12名）農地利用最適化推進委員（4名）

農業委員	氏 名	農業委員	氏 名	推進委員	氏 名
1	森本 輝雄	8	中江 彰	1	岡本 勝康
2	今村平治郎	9	上田美加子	2	寺田 勉
3	鵜山 久雄	10	前田 全計	3	稲岡 丈介
4	小川 隆興	11	欠 席	4	吉岡 重治
5	奥本 正嗣	12	弓場 一郎		
6	木下 浩明	13	本郷 保則		
7	梅田 昌宏				

4. 欠席委員 農業委員 11番 藤岡秀信委員（1名） 推進委員（0名）

## 5. 議事日程

第1 議事録署名委員の指名

第2 会議書記の指名

第3 議事案件

議第1号 農地法第3条第1項規定について申請の件

議第2号 農地法第5条規定による申請の件

議第3号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項規定による農用地利用集積計画について

議第4号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条により農用地利用配分計画について

議第5号 その他

1) 相続税猶予に関する適格者証明願承認について

2) 専決処分の報告について

報告第1号 農地法第5条第1項第6号の規定による転用届出の件

## 6. 農業委員会事務局職員

事務局長 龍 節子

事務局補佐 東浦章仁

## 7. 会議の概要

議 長 それでは、定刻になりましたので、ただ今から9月の定例委員会を開催致します。  
 本日の出席委員は、農業委員13名中12名が出席して頂いておりますので総会は成立していることを報告致します。

なお、藤岡委員は、お越しいただいておりましたが、急用の連絡で欠席となりました。推進委員は4名全員出席して頂いております。

(会長あいさつ)

議 長 それでは、議事日程、第1、議事録署名委員の指名についてお諮り致しますが、私から指名させて頂くことに異議などございませんか。

(異議なしの声有り)

議 長 異議ないようですので、署名委員に5番、奥本委員さんと、6番、木下委員さんのお二人を指名しますのでよろしくお願い致します。

続いて議事日程、第2、会議書記の指名には、事務局の龍局長と東浦補佐を指名致します。

それでは、ただ今から議事日程、第3、議事に入ります。まず、議第1号を議題と致します。事務局より説明願います。

事務局 それでは議案書1ページをお願い致します。議第1号、農地法第3条第1項について申請の件について説明致します。本件は、農地を農地として耕作するため、贈与、及び売買による所有権移転による権利の移動でございます。

番号1番、申請地、大字今里□□□番(田)1,056㎡、譲受人、檀原市、曲川町、□□□□、譲渡人、今里町、□□□□、売買による所有権の移転で、申請理由は、規模拡大のためでございます。なお、譲受人の耕作地面積は、66,744㎡と下限面積は満たしております。場所は、調査順序表第2番目、おおやまと環境整美事業組合より□へ約100mのところでございます。

番号2番、申請地、大字今里□□□番(田)1,052㎡、譲受人、檀原市曲川町、□□□□、譲渡人、今里町、□□□□、売買による所有権の移転でございます。なお、譲受人の耕作地面積は、66,744㎡と下限面積は満たしております。場所は、調査順序表第3番目、おおやまと環境整美事業組合より□へ約100mのところでございます。

番号3番、申請地、大字田井□□□番1(田)1,612㎡、譲受人、大字田井、□□□□、持分1/3、□□□□□、持分1/3、□□□□、持分1/3、譲渡人、大字田井、□□□□、贈与による所有権の移転で、申請理由は、後継者育成のためでございます。なお、譲受人の耕作地面積は、25,619㎡と下限面積は満たしております。場所は、調査順序表第3番目、クリーンセンターより□へ約500mのところでございます。

以上、議第1号につきましては3件の申請で、申請に伴う書類等はいずれも具備致しております。

議 長 ただ今、事務局から説明がありましたが、続いて農地法に基づく審査基準による検討事項について、事務局より説明願います。

事務局 続きまして、今回の申請に伴い記載された内容について、審査基準の農地法第3条第2項について説明させて頂きます。まず、今回、権利の取得後において、現在保有する農地も含めて、すべての農地を効率的に利用し、耕作されるかという全部効率利用要件につきましては、3案件とも、それぞれの受人又はその世帯員の耕作に必要な機械の保有状況や、農作業従事者など、いずれも現在保有しているすべての農地の耕作状況又は管理状況からして、今回取得する農地も含めて引き続き効率的に利用することが見込まれ、支障がないものと判断致します。

次に、権利を取得した後に、農作業に従事するかという常時従事要件につきましては、それぞれの申請書に記載の世帯員等の農作業の従事状況からしても、それぞれ

の受人は、取得後も農作業に常時従事することが見込まれます。また、周辺の地域との調和要件につきましては、1番2番につきましては、周辺の農家組合等と協力し支障のないように行うとのことで、申請地周辺には耕作地を所有されております。また3番目については、同一世帯内での所有権の移転でございますので、従前同様に耕作していくとのことで、いずれも支障がないものと考えます。以上、今回の案件の申請内容から致しますと、農地法第3条第2項のいずれにも該当しないため、許可要件のすべてを満たすと判断致します。ご審議よろしくお願い致します。

議 長       ただ今、事務局からの説明が終わりましたが、この議第1号につきまして何かご意見、ご質問等ございませんか。

7 番       確認なのですが、耕作面積はその方の耕作地ということではなく、家族内で耕作されている面積という理解でよろしいですか。

事務局       それでよろしいです。

7 番       1番と2番の案件は同一世帯で、面積も同じなのですね。

1 2 番       3番は3人おられますが、本来それぞれの耕作面積を記載していただく方がわかりやすいのではないですか。

事務局       今回は、同一世帯内での持ち分移転ですので同一耕作面積となりますので、記載は一つとさせていただきます。

議 長       他に質問ございませんか。ないようですので採決致します。それでは、議第1号、農地法第3条第1項について申請の件に賛成の方は挙手をお願い致します。

(全員挙手)

議 長       全員賛成ですので、議第1号は、委員会処理に決定致します。次に議第2号を議題と致します、事務局から説明願います。

事務局       議第2号、農地法第5条規定による申請の件について説明致します。本件は、市街化調整区域の農地を売買及び使用貸借権の設定により、農地以外の目的に使用するための転用申請でございます。

番号1番、申請地、大字出□□番2(田)279㎡、譲渡人、大字出、□□□□、申請地、大字出□□□番3(田)502㎡、譲渡人、大字出、□□□□、申請地、大字出□□□番1(田)707㎡、譲渡人、大阪府四条畷市、□□□□、申請地、大字出□□□番3(田)693㎡、譲渡人、大字出、□□□□、持分1/2、□□□□、持分1/2、いずれも譲受人は、橿原市曾我町、(有)□□□□□□□□です。売買による所有権移転で、一戸建専用住宅8戸への転用申請でございます。場所は、調査順序表第1番目、勝目交差点より□□へ約25mのところでございます。なお、開発事前協議書等、申請に伴う書類等は具備致しております。

番号2番、申請地、大字大谷□□番3(田)1,002㎡、大字大谷□□番5(田)10㎡、借受人、葛城市今在家、□□□□、貸出人、葛城市今在家、□□□□、転用目的は、使用貸借権の設定により太陽光発電設備への転用申請です。以上、議第2号につきましては2件の申請でございます。

議 長       ただ今、事務局からの説明が終わりましたが、続いて農地部会で現地調査に基づき審議して頂いておりますので、農地部会長よりその審議結果について報告を願います。

部会長       それでは農地部会より審議内容の報告をさせていただきます。

番号1、大字出の(有)□□□□□□□□さんで売買による所有権移転の設定にて、

隣接する宅地や雑種地とともに一戸建専用住宅（８戸）への転用の申請であります。申請地の現況は、休耕状態にあります。周囲の状況は、北側と西側は宅地 南側と東側は農地です。周囲に擁壁をもうけ、土砂の流出がないように造成されます。

隣接農地の方や出水利組合からも同意を得ています。排水は浄化槽をもうけ、雨水とともに南側の既設水路に排水されます。周囲への被害はないものと思われます。

農地部会としては妥当な申請であろうという審議結果でした。

番号２、大字大谷の□□□□さんで使用貸借権の設定にて太陽光発電設備への転用の申請であります。本年３月の委員会にて農用地除外についてご審議いただきました案件です。申請地の現況は、耕作中であります。周囲の状況は、北側と西側は水路 南側は農地 東側は宅地です。周囲に擁壁をもうけ、土砂の流出がないように造成されます。排水は自然浸透で北側の既設水路に排水されます。隣接農地の方や大谷水利組合からも同意を得ています。周囲への被害はないものと思われます。 農地部会としては妥当な申請であろうという審議結果でした。以上、農地部会での審議結果を報告させていただきます。

議 長       ただ今、農地部会長より説明のあったとおりですが、続いて農地法に基づく農地転用許可基準による検討事項について事務局より説明願います。

事務局       それでは説明させていただきます。大字出の申請地の農地区分は近鉄浮孔駅より３００m内に位置し第３種農地と判断致します。まず、資力及び信用につきましては、必要な資金は金融機関からの融資資金と自己資金でまかなう計画で、金融機関の預金通帳の写しと融資の承諾書も添付されており、事業計画書の内容からして、転用の目的を達成する資金として適当であると考えます。次に、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性の点につきましては、許可後より早々に着手し、約１年で完成とのことでありますので確実と考えます。また、計画面積につきましては、計画図面からして、転用の目的、事業規模からも妥当な面積であると考えます。

次の大字大谷の件につきましては、ＪＲ五位堂駅から約３００m内に位置し、第３種農地と判断いたします。まず、資力及び信用につきましては、事業計画に見合う費用の金融機関の預金通帳の写しが添付されており、適当であると考えます。次に、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性の点につきましては、以前より農業用倉庫にソーラーパネルが設置され、今回は増設のための申請であり、許可後すぐ着工したいとのことです。また、計画面積につきましては、利用計画図面より、転用の目的からも妥当な面積であると考えます。以上、ご審議よろしくお願い致します。

議 長       ただ今、部会長並びに事務局からの説明が終わりましたが、この第２号議案について何かご意見、ご質問などある方は挙手をお願い致します。

４ 番       出の転用については、特区を利用して開発されるものですか。

事務局       そうでございます。

推３番       特区で指定されている区域だから、一般住宅を建てることのできるのですね。

事務局       特区に指定されていない区域では、農家住宅や分家住宅でないと建築できません。

７ 番       大谷の□□番５はどの部分になるのですか。

事務局       東側の道から進入路の形になっておりますが、北側の家の際の部分でございます。

議 長 他にご意見、ご質問ございませんか。ないようですので、採決致します。議第 2 号について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

(全員挙手)

議 長 全員賛成ですので、議第 2 号は県へ送付することに決定致します。次に議第 3 号を議題と致します。事務局より説明願います。

事務局 議案書は 3 ページをお願い致します。議第 3 号、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項規定による農用地利用集積計画について説明致します。本件は、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対し、農用地の利用集積により、経営基盤の強化を促進するための措置として、産業振興課より当委員会に対して、原案作成に伴う決定の依頼を受けたものでございます。産業振興課と農業委員会事務局で書類審査等の事前協議を行った上で、案件とさせて頂きました。

整理番号 1 番、利用権の設定を受ける者、樺原市、なら担い手・農地サポートセンター、利用権を設定する者、大字土庫、□□□□、利用権を設定する農地、大字土庫□□□番 1 (田) 7 1 8 m<sup>2</sup>、利用権の種類は、中間管理権の設定により使用貸借にて担い手へ貸付を行うため、野菜を作付けしての利用でございます。利用期間は、平成 30 年 9 月 7 日から平成 35 年 12 月 31 日までの約 5 年間でございます。

今回の計画は、中間管理機構、なら担い手・農地サポートセンターが中間管理権を取得し、担い手に貸付するためのものであり、要件を満たすものと判断しております。この内容をご承認頂ければ、市の産業振興課に対して、その旨の回答をさせて頂きますので、ご審議よろしくお願い致します。

議 長 ただ今、事務局からの説明が終わりましたが、この件につきまして何かご意見、ご質問など、何かございましたら挙手をお願い致します。何かございませんか。

(なしの声あり)

議 長 なしとの声がありましたので、異議がないものとして採決致します。それでは、議第 3 号を承認することに賛成の方は挙手をお願い致します。

(全員挙手)

議 長 全員賛成ですので議第 3 号は、産業振興課に対して原案のとおり承認した旨の回答をすることに決定致します。

次に、議第 4 号を議題と致します。事務局から説明願います。

事務局 議第 4 号、農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条による農地利用配分計画について説明致します。本件は、白紙委任を受け、農地の所有者から農地を借り受けた農地中間管理機構が、その借り受けた農地を次の耕作者に貸すための手続きとして農地利用配分計画を定める必要があります。

農地中間管理機構が農地利用配分計画を定める場合には、農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条の規定によりまして、市町村に対し、その計画案を提出するよう求めることが出来るとされていることから、市町村がその計画案を作成するにあたり、必要と認めるときは農業委員会の意見を聴くものとされています。

今回、市の産業振興課で農地利用配分計画案が作成されましたので、議案第 4 号のとおり農業委員会に対し意見を求められましたので、本日ご審議頂くものでございます。この案件は、議第 3 号で中間管理権を設定した農地となります。

番号 1 番、利用権の設定を受ける者、上牧町、□□□□、利用権を設定する農地、大字土庫□□□番 1 (田) 7 1 8 m<sup>2</sup>、利用権の種類は、使用貸借権の設定により、野

菜を作付けしての利用で期間は、県の公告日より平成35年12月31日までの約5年間でございます。現に権利の設定を受けている者、公益財団法人、なら担い手・農地サポートセンターでございます。

以上、農地利用配分計画については1件でございます。ご審議よろしくお願い致します。

議 長       ただ今、事務局より説明のあったとおりですが、この件について何かご意見ご質問等ございませんか。

議 長       質問がないようですので採決致します。

それでは、第4号議案、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条による農地利用配分計画について、承認することに賛成の方は挙手をお願い致します。

(全員挙手)

議 長       全員賛成ですので、第4号議案につきましては、許可相当の意見を付し、市の産業振興課へ回答することに決定致します。

次に入ります。議第5号、その他の1番を議題と致します。

事務局       議案書は、4頁と5頁にわたっております。議第5号、その他1番、相続税の納税猶予に関する適格者証明願承認について説明致します。

本件は、租税特別措置法第70条の6の規定の適用を受けるため、証明の願い出をされているもので、税務署への相続税申告の書類の一部として必要になるものでございます。

農地を自ら今後耕作する農地に対し、相続税の支払いの猶予を受けるもので、耕作放棄地では猶予の対象となりません。案件が出て参りましたら今後、担当地区の方は耕作されているかどうかの監視をよろしくお願い致します。

番号1番、所在地、いずれも大字松塚で□□番、外18筆で、田は14筆、面積は13,976㎡、畑が5筆、907㎡、面積は合計で、14,883㎡ 相続人、大字松塚、□□□、被相続人、大字松塚、□□□□、

番号2番、所在地、今里町□□□番2、外3筆で、田は2筆、面積は966㎡、畑が2筆、1,860㎡、面積は合計で、2,826㎡ 相続人、今里町、□□□□、被相続人、今里町、□□□□、

以上の調査内容と致しまして、あらかじめ事務局で、証明に伴う調査書により平成30年8月26日に現況が農地として耕作されていることの現地調査を行い確認致しました。引き続き農業経営を行う事に関しましては、1番の相続人は、認定農業者として専業で農業を営んでおられ、また2番の相続人に関しても、事実確認調査を行い、引き続き行われるものと判断いたしました。ご決定を頂きますと申請者に証明書を交付するものでございます。ご審議よろしくお願い致します。

議 長       ただ今、事務局より説明のあったとおりですが、この件につきまして何かご意見ご質問などございませんか。何かございましたら挙手でお願いします。

13番       相続税の納税猶予を受けられたら20年は耕作しないといけないのですね。

事務局       20年の法改正によりまして、適用をうけた農地は、終身営農しなければなりません。

13番       途中で転用したりする場合は、相続税と利子と合わせて支払はなければならないのですね。

事務局       そうでございます。後ほどご案内させていただこうと思っておりましたが、来月の

委員会の前に税務署の納税猶予のご担当者にお越しいただきお話を聞かせていただく予定をいたしております。

13番 議 長 それではその時に詳しくお聞きします。

議 長 他に質問等ないので採決致します。それでは、議第5号、その他3、相続税の納税猶予に関する適格者証明願について、承認することに賛成の農業委員の方は挙手をお願い致します。

(全員挙手)

議 長 全員賛成ですので、議第5号、その他の1番、相続税の納税猶予に関する適格者証明願承認については、事務局処理に決定致します。それでは議第5号、その他2番を議題と致します。事務局から説明願います。

事務局 議案書5ページをお願い致します。議第5号その他の2番、専決処分の報告について報告第1号、農地法第5条第1項第6号の規定による転用届出の件について説明致します。本件は、事務処理規定に基づきまして、市街化区域農地の転用届出分について専決処理を行ったものの事後報告であります。今回議案と致しましたのは、平成30年7月26日から平成30年8月26日までの報告分でございます。

番号1番、転用届出地、大字岡崎40番1(畑)297㎡、大字岡崎□□番2(畑)36㎡、大字岡崎□□番3、譲渡人、大字岡崎、□□□□、譲受人、橿原市光陽町、株式会社□□□□で、売買による所有権移転により、一戸建専用住宅への転用届出であります。また、平成30年8月7日に確認委員の藤岡委員さんに連絡致しまして、事務局も現地を確認し、書類も具備致しておりましたので、会長の承認を得まして専決処理を行ったものでございます。以上、第5条関係1件3筆の専決処分の事後報告でございます。

議 長 ただ今、事務局より専決処分の転用届出の報告がありましたが、これらの件について何かご質問などございませんか。何かございましたら挙手をお願い致します。

議 長 ご質問ないので、異議がないということで報告第1号を終わります。確認委員の藤岡委員さんには大変お忙しい中、ご確認頂きましてありがとうございました。議案審議につきましては以上でございますが、その他何かございませんか。

議 長 ないので、委員の皆様方には大変ご苦勞様でした。これで9月の定例委員会を終らせて頂きます。

議事録は、農業委員会等に関する法律第33条により作成し、大和高田市農業委員会会議規則第8条の規定によりここに署名する。

議 長 今 村 平治郎

署名委員 鵜 山 久 雄

署名委員 小 川 隆 興